

農林水産省登録
第21259号

浸透移行性殺虫剤

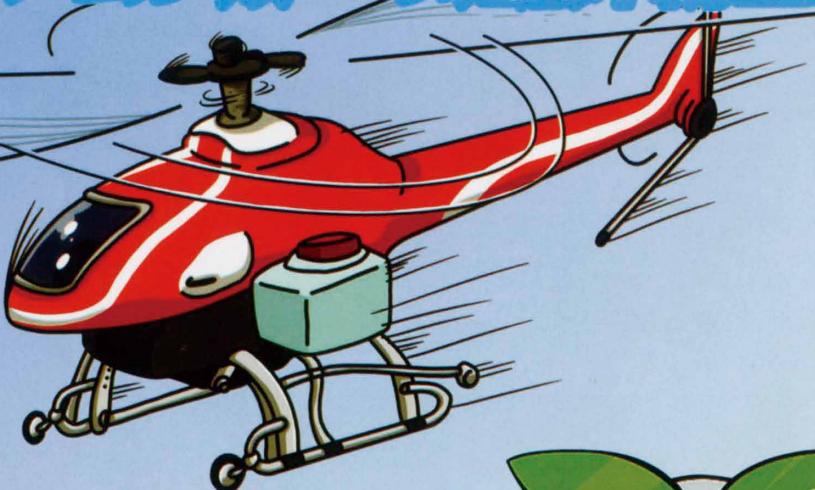


スタークル®

液剤10

スタークルは三井化学アグロ株式会社の登録商標です。

カメムシ類への斑点米防止に手をたえあり!



空中散布、
無人航空機散布、
地上液剤少量散布
でも使えます!



斑点米カメムシ類
防除はおまかせ!



農林水産省登録:第21259号

有効成分:ジノテフラン……………10.0%

人畜毒性:普通物*

*「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

1. カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイに効果を発揮! 特にカメムシ類には殺虫効果・吸汁阻害効果で、斑点米被害を効率的に防ぎます。
2. 空中散布・無人航空機に加えて、乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置(ブームスプレーヤなど)での散布にも使える液剤です。
3. だいす・えだまめの害虫防除にも使えます! また、休耕田のカメムシ防除にも活用できます。

■適用害虫および使用方法

(2019年11月6日付拡大登録内容を含む)

作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数		
稲	ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)		
		16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布			
	ウンカ類 カメムシ類 ウンカ類	30倍	3ℓ/10a			空中散布			
		8倍	0.8ℓ/10a			散布			
		30倍	3ℓ/10a			無人航空機による散布			
		300倍	25ℓ/10a			空中散布			
		60~150ℓ/10a				散布			
さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ イナゴ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫45日前まで	2回以内	無人航空機による散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)		
だいす	フタスジヒメハムシ	8倍	0.8ℓ/10a			空中散布	3回以内 (は種時の土壤混和は1回以内、散布は2回以内)		
	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ					散布			
えだまめ	フタスジヒメハムシ	1000倍	100~300ℓ/10a			無人航空機による散布	2回以内		
	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ	8倍	0.8ℓ/10a			空中散布			
						散布			
らっきょう	アザミウマ類 ハモグリバエ類	8倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内		
いね科牧草	アブラムシ類		100~300ℓ/10a	収穫7日前まで		空中散布			
水田作物 煙草作物 (休耕田)*	カメムシ類	1000倍	60~150ℓ/10a	—		散布			

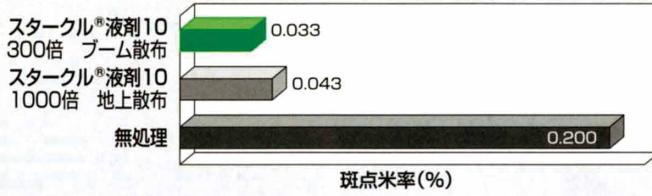
*ヨシ、オギ、スキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

■試験成績

●水稻・カメムシ類への防除効果(地上液剤少量散布)

*2004年度「新農薬実用化試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記

(2004年 社団法人 北海道植物防疫協会)

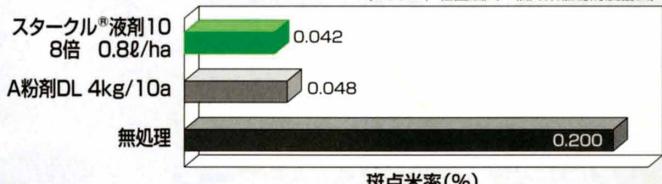


- 供試昆虫: アカヒゲホソミドリカスミカメ
- 発生状況: 少発生
- 品種: ななつぼし
- 処理: 2004年8月2日、9日に、少量散布ブームスプレーヤ用ノズルを動力式散布器に設置し、25ℓ/10aを茎葉の裏表に散布した。対照剤は100ℓ/10aを散布した。
- 調査: 9月13日に各区40株を刈り取って乾燥し、精玄米で区当たり5000粒以上の斑点米調査を行った。

●水稻・カメムシ類への防除効果(無人航空機散布)

*2002年度「産業用無人航空機受託試験成績書」(農林水産航空協会)より一部転記

(2002年 社団法人 福井県植物防疫協会)



- 供試昆虫: カメムシ類(ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、コバニヒヨウタンガホカムムシ混発)
- 発生状況: 少発生
- 品種: ハナエチゼン
- 処理: 2002年8月6日に、ヤマハR-MAXを用いて所定量を散布した。対照剤は所定量を地上散布した。
- 調査: 収穫期に各区3ヶ所で10株刈取り後、玄米中の被害粒数を調査した。

⚠ 効果・薬害等の注意



- 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水は下水に入れてください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - 散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - 少量散布(8倍液)の散布には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - 無人航空機による散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートンの塗料

等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

⑥作業終了後は次の事項を守ってください。

(a) 使用後の空容器は放置せず、適切に処理してください。

(b) 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

●本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。

●ミツバチに対して影響があるので、以下のことについてください。

①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使

用しないでください。

②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、よく初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

保管: 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は2019年11月6日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまで測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

2206MC/ZN10